

那須塩原市議会 「シン・那須塩原」 行政視察報告書



視察期間：令和7年7月26日（土）～7月28日（月）

- I 視察日：7月26日（土）
視察地：兵庫県神戸市
内 容：「人と防災未来センター」について

- II 視察日：7月27日（日）
視察地：大阪府大阪市
内 容：「大阪・関西万博」について

- III 視察日：7月28日（月）
視察地：大阪府枚方市
内 容：「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」について

- IV 視察日：7月28日（月）
視察地：大阪府東大阪市
内 容：「ものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）」について

参加議員： 松田寛人 相馬剛 齋藤寿一 森本彰伸 林美幸
小出浩美 松野真弓 赤塚茂昭

**阪神・淡路大震災記念館
「人と防災未来センター」について**

視察地 兵庫県神戸市
視察日 令和7年7月26日
報告者 赤塚 茂昭

【視察の目的】

1. 防災・減災の知識と教訓の学び
 - ・阪神・淡路大震災の被害実態、復興の過程、防災対策の変遷を通じて、災害への備えの重要性や教訓を学ぶ。
 - ・映像、展示、体験を通して、災害発生時の初動対応や地域の連携の重要性や教訓を学ぶ。
2. 地域防災の施策への活用
 - ・本市における地域防災計画や市民啓発、防災教育の参考とするため、他地域の先進的取り組みを視察する。
 - ・災害に強い地域づくりに向けた新たな施策や市民協働のあり方を考察する。

【人と防災未来センター】

- ・「人と防災未来センター」は、防災・減災の世界的拠点となることを目的に創設された機関であり、平成14年4月に開設された。阪神・淡路大震災から得た貴重な教訓を世界共有国内外の地震災害時、被害が軽減され生命の尊さや共生の大切さを世界に発信することを目的としている。
- ・施設は、東館と西館に分かれている。西館は2階が「防災と減災体験フロア」となっており、【防災・減災ワークショップ】【減災グッズ展示や備えのチェックリスト】【防災未来ギャラリー企画展】コーナーなどがある。水と災害の実験コーナーなどもありボランティアの方々が担当していた。
- ・3階の「震災の記憶フロア」では、【記憶を残す】【語り継ぐ】【復興をたどる】

コーナーとなっている。被災体験者により、地震の発生時の状況や、避難所での様子などの話が聞ける。

- ・4階は、「震災追体験フロア」となっており、【復興直後の街】を原寸のジオラマで体験した。大震災ホール、1.17シアターで当時の映像などを観た。
- ・東館は、BOSAIサイエンスフィールド、心のシアターなどがある。地震の模擬体験なども出来る。このような施設で、地震や災害に対して予備知識を養い、様々な今までの災害を忘れず学ぶ必要がある。

【所感】

このたびの視察において、阪神・淡路大震災における甚大なる被害の実相を改めて目のあたりにし、自然災害の脅威と、それに備える人々の知恵と行動の重要性を痛感したところである。

人と防災未来センターにおける展示は、単なる記録にとどまらず、被災者の声や復興への歩みを通して、「命を守る」ことの本質を我々に問いかけており、極めて示唆に富む内容であった。特に災害発生時における地域コミュニティの果たすべき役割の大きさを実感し、本市における防災・減災体制の更なる強化の必要性を再認識した次第である。



人と防災未来センターにて

大阪・関西万博及び那須塩原市・リンツ市姉妹都市学生合唱交流について

視察地 大阪府大阪市

視察日 令和7年7月27日

報告者 小出 浩美

【視察概要】

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、その目的として「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、最先端技術や国際的な協力を通じて、未来社会の可能性を模索すること、具体的には

- ① 最先端技術など世界の英知が結集し新たなアイデアを創造発信
- ② 国内外から投資拡大
- ③ 交流活性化によるイノベーション創出
- ④ 地域経済の活性化や中小企業の活性化
- ⑤ 豊かな日本文化の発信のチャンス

を掲げ開催されており、その会場を視察した。

会場は、その目的にふさわしい造作が施され、特に象徴的なシンボルとして建設された「大屋根リング」は、世界最大の木造建築物として、一周約2キロメートル、高さ約20メートルの巨大なリング状の建造物で、万博会場のコンセプト「多様でありながら、ひとつ」を象徴する壮大な建造物であった。

各パビリオンについては、来場客が多数であったことや事前予約が必要であったことから残念ながら内部の視察はごく一部となった。

併せて、同会場で開催された、那須塩原市・リンツ市姉妹都市学生合唱団による「万博国際合唱交流プログラム」の視察と応援を行った。



このプログラムの準備として、7月22日にリンツ市音楽高校アダルベルト・シュティフター校の10名の生徒たちが那須塩原市を訪れ、翌日から21名的那須塩原市の中学生と合流し、交流会と2日間の厳しい練習に取り組み、25日に大阪へ出発、本番の27日28日も練習に励んだそうである。

その練習と交流の成果によって心をつなげた合唱は、素晴らしいハーモニーを奏で、聴衆の歓声を得ていた。



大阪・関西万博にて

大阪・関西万博について

視察地 大阪府大阪市
視察日 令和7年7月27日
報告者 森本 彰伸

今回の大阪・関西万博の視察は、55年ぶりに大阪で開催される万博において、那須塩原市の中学生と本市の姉妹都市であるオーストリア・リンツ市の高校生が合同で合唱を披露することになったことがきっかけであった。

本市の中学生による合唱は、全国大会で金賞を受賞することもあるほど盛んで、実力のある生徒が多いと聞いている。そうした中学生たちが、世界中から来場者が集まる万博の場で、リンツ市の高校生とコラボレーションする姿を見学し、応援したいと考えた。

また、55年ぶりに日本で開催される万博は、多くの日本人にとって誇りであり、世界中からも注目される一大イベントである。ここを訪れる子どもたちの心、どのような「夢」や「希望」の火を灯すのかを実際に見て感じることは、今後の那須塩原市における市政や教育行政にとっても貴重な参考になると考えている。

イベントとしての万博は、国を挙げての取り組みであり、開催地である大阪府や大阪市にとっても威信をかけたものである。さまざまな工夫が凝らされており、学ぶべき点の多い視察となった。

私たちが視察を行った7月27日は、大変厳しい暑さの日であった。真夏のイベント運営においては、来場者の熱中症対策が重要であり、会場内に日陰をつくらせたり、涼を感じられる休憩場所を設けたり、飲料水を確保するなど、運営側には多くの配慮が求められる。

今回の万博では、安全管理の観点もあり、一時間以上炎天下で並ぶ必要があった。並び始めには日傘の貸し出しがあり、

列の横からスポットクーラーで風を送る工夫も施されていた。それでも長時間の待機では体調を崩す方も出るのではないかと懸念された。多くの来場者は自ら飲み物を持参したり、携帯用扇風機を使用したりして対策していたが、さらなる工夫も必要であると感じた。

会場内に入ると、水を霧状に噴霧するミストスポットや、大屋根リングによってできる日陰が非常に効果的であった。大屋根リングの下を通過して各パビリオンの入口へと向かう設計は、人の流れをスムーズにし、同時に暑さ対策にもなっていた。

那須塩原市の中学生とリンツ市の高校生による合唱は、素晴らしいものであった。合唱はハーモニーを重ねる芸術であり、遠く離れた両市の生徒たちはリモートで練習を重ね、実際に対面での練習はわずかであったと聞いている。そのような中で、あれほど完成度の高いパフォーマンスを披露できたことには、指導者の尽力、そして子どもたちの集中力や吸収力に驚きと敬意を覚えた。

今回、子どもたちは万博という歴史的なイベントに参加することができた。この経験は、那須塩原市・リンツ市両市の子どもたちにとって、きっと大きな財産となったことであろう。万博の見学、両市の交流、そして友情を通じて、子どもたちが大きく成長したことを感じられた、非常に意義深い視察であった。



万博会場にて

**ひきこもり等子ども・
若者相談支援センターについて**

視察地 大阪府枚方市
視察日 令和7年7月28日
報告者 林 美幸

【枚方市の概要】

西に淀川が流れ、東には緑豊かな生駒山系の山々がある。平安時代には貴族の遊猟地として知られ、江戸時代には京街道の宿場町として栄えた。人口約39万人（令和7年6月1日現在）

【相談支援センター設置の経緯】

平成22年4月の子ども・若者育成支援推進法の施行から、平成24年に「枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議」を設置。その後平成30年に「枚方市子ども・若者支援地域協議会」となる。平成25年4月「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を設置。15歳からおおむね39歳までの不登校・ひきこもり、ニート等に関する相談や、継続した対応方法を検討し、必要に応じて、より適した支援機関等につないでいる。場所は、枚方市子ども未来部まるとこどもセンター内に専用の窓口を設置している。

【不登校、ひきこもり等の社会性向上の取り組みと工夫】

相談・居場所・家族の会を支援の3本柱とした、スモールステップの取り組みを実施。

① 相談体制

電話相談と面接相談があり（専用電話設置）。面接相談は事前に予約が必要であり、窓口には、臨床心理士や社会福祉士等の資格を有する職員を配置し、関係機関との連携をしながら対応をしている。

職員のスキルアップのために、外部講師により助言をもらうスーパービジョン（専門家から指導や教育を受けること）を実施。

② 居場所支援

ひきこもり等の子ども・若者が社会に参加するきっかけのためのスモールステップとして枚方公園青少年センター等を活用し、居場所事業「ひらぼ」専用のコーディネーターを配置し実施。個別の面接相談も継続しながら、ひとりひとりに合った支援を行う。

③ 家族の会

月に一回、相談支援センターの相談者を対象に同じ悩みを持つ家族の相互理解や交流を目的として開催する。制度について学んだり、女性だけの女性会を実施している。

【枚方市子ども・若者支援地域協議会】

ひきこもりやニート、不登校などの相談機関のネットワーク構築のために設置。各機関等が顔の見える関係を築くとともに、さまざまな状況のひきこもり等の子ども・若者に対し、切れ目のない適切な支援が行える体制をめざしている。偶数月に実務者会議、奇数月に世話人会議を実施。

【考察】

心理士、保健師、社会福祉士などの専門職を正職員として雇用し、課長代理などの管理職に組織化された体制は、専門性を活かした支援体制が構築されており、こどもセンターとしての機能を充実させている。また、子ども・若者支援地域協議会の設置は、社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援するために、関係機関の顔の見える関係

を整備していることは、支援の充実と、支援からこぼれ落ちることないセーフティネットとして充実した連携であると考ええる。代表者会議と実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）を分けて実施し、実務者の支援の質を向上させることができているのは、子ども・若者支援地域協議会で作成した「枚方市暮らし応援ハンドブック～困った時のために～」を有効に活用しており、その支援の充実と支援の質の高さを感じた。

専門職の雇用体制として、子ども・若者を支援する環境にスーパーバイズできる職員がいることが組織全体の支援の質を高められると考える。本市における支援体制においても、その必要性を提案していく必要があると考える。



まるっとこどもセンターにて

ものづくりビジネスセンター大阪 (MOBIO) について

視察地 大阪府東大阪市

視察日 令和7年7月28日

報告者 松野 真弓

大阪府は中小企業の街と呼ばれ、中小企業所数は全国2位、製造品の府全出荷額の56.2%を中小企業が占めているというまさに「ものづくり」の街。

歯ブラシからロケットまで、を合言葉に幅広いジャンルの中小企業を支援するため府はものづくり支援課を設置し、中小企業に対して様々な支援体制を整えている。

本市として中小企業に対して今後どのような支援を行っていくかなど参考になるヒントとして、東大阪市にあるMOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)にて視察を行った。

MOBIOとは大阪府と大阪産業局が運営する府内ものづくり中小企業の総合支援拠点で国内最大級の約200の企業の最新技術、製品を展示。ビジネスマッチングの場として常設展示の他、ワークショップや企業間交流会、技術力育成など中小企業の「困った」を解決する支援センターとなっており、現在は国内のみならず海外からも視察も多く受け入れ、インド、マレーシアなど各国からも日本の高い技術力が注目されている。

館内展示の充実度はもちろんのこと、定期開催されているMOBIO-Caféというセミナーや交流会を通して企業間が情報交換をしながら交流を図る「繋がり」の場の提供、ものづくり企業の産学連携や人材育成の支援、DX推進サポートなどきめ細やかなサービスで技術開発をプロジェクトの創出から事業化まで支援している。

また技術開発のための経費の一部を助成する「大阪府ものづくりイノベーション支援プロジェクト」という府が新たなチャレンジを積極的に支援する制度や、技術力の高い企業への顕彰制度、大阪製ブランド認定制度など、大阪府がものづくりに対して官民一体での企業プロモーションを展開する姿勢は今後、本市のみならず全国の自治体でも積極的に取り入れるべき制度であると大変興味深く感じた。



MOBIO 入口にてウェルカムフォト



MOBIO 展示会場の様々な技術展示

本市は酪農業を中心に農業が盛んな地域である。MOBIO はいわゆる製造業に特化した支援センターであるが、本市においてはこの MOBIO の成功例を元に中小企業だけではなく、農業に関わる方々に対してこのようなシステムを取り入れることにより今後のなり手不足の解消や、若い世代が農業に関心を持つきっかけ作りにもなり得る可能性などを感じた。

現在、大阪府は万博が開催されており、連日世界各国から観光客が訪れているが、MOBIO では計 3 カ所での展示、出展参加を行っている。今後更に大阪府のものづくり技術は世界に発展していくものになるであろうと思われる。そのプロモーション体制は本市も是非見習っていきたい。